

# 大阪・関西万博開幕日(2025.4.13)に会場で歌う 「一万人の第九 EXPO2025」に参加して!



大阪・関西  
万国博覧会  
会場



参加者募集案内

世界の  
佐渡 裕  
指揮



夢洲

大屋根リング

「一万人の第九」大イベントは

1983年大阪城ホールから始まった、自由応募の  
一万人による世界でも類を見ない合唱団である。  
今回の合唱団員募集（これまで、屋外公演は皆無）  
しかも会場が大屋根リング(直径:675m、外周≒2km)の  
想像すら出来ない広大な万博会場での合唱！  
小雨決行・初めての会場に早朝集合

(ゲートオープン時間に開演を間に合わせるため)  
これまで、第九に魅せられて数回参加しているものの、  
この度の募集は、自身82才高齢(6~93才の参加者構成)  
かなりハードルが高いたので応募するか否かは随分思案した。  
結果！万博開幕日に、その会場での第九合唱なんて  
“一生に一度しか来ないチャンス”だとの思いと、更には  
自分自身これまでの第九の総括版にしようかとの想いで  
チャレンジする事に決めた。

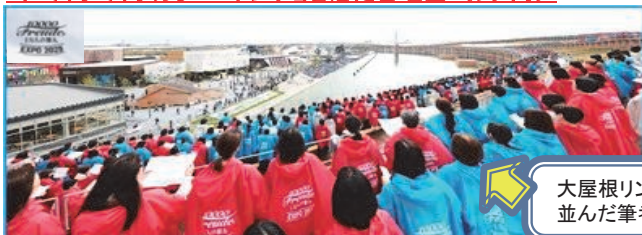
当初、正直、そんな野外空間で合唱なんて出来るの～？  
まゆつばものや～？と思っていたがやがて、  
事務局から、合唱団員の個人別合唱ブロックが決定し、  
大屋根リング上に6千人・地上のウォータープラザ岸辺に  
4千人合計一万人の配置決定連絡が入った。

【大屋根リング：6,595人 総勢：10,263人の合唱団】

私は、ウォータープラザ、(指揮者・オーケストラエリア)の  
右側後方のブロックに決まりました。

【最大500m 離れた大合唱団となった】

<“ミャクミャクカラー”ポンチョを着た合唱団 リング内>



大屋根リング上に6千人の合唱団員がずらり立ち  
並んだ筆者の位置から見上げた壮大な景観！

この頃から次第に一万人の声が、万博会場の広大である空間の中で、どう響き聞こえるのか？  
“一種わくわくする思い”で、リハーサル・本番を待つ気持ちに変わってきたものです。

本番で、事務局指定カラフルな統一ポンチョを着た合唱団員が、  
リング上・ウォータープラザ岸辺にズラリ、立並ぶ合唱団の壮観な姿を、眺めた時、  
この広大空間に負けないように、精一杯自分の、思いを込めて、第九を歌い上げようと  
身構えた。たとえ、一万人の内一人と言えども、それなりにレッスンにも熱を入れてやってきた。  
終盤で、オーケストラが花火を打ち上げるように華やかな合唱エンディングを  
奏でたところまで、誰も経験したことがないのだろうな？

そんな想いで、壮大なビッグ体験を“やったぞ！”やりきった達成感と、満足感で  
一杯になった！小雨で始まった大合唱も「その頃には、空は、青空」が見えていた。  
多くのひとのおかげでまた人生の貴重な、

思い出の1ページ を、追加することが出来た。



ウォータープラザ合唱団 4千人  
& 筆者の合唱ブロックエリア



高さ:20m



合唱団員バスを首に掛けた  
公式キャラクター  
“ミャクミャク”像前にて

投稿者：小平真輝雄